

取組のポイント

- ①本地区塩崎団地の代表として農地の集積・集約化を推進。積極的に農地を引き受け経営面積を拡大。
- ②10a～20a区画の水田が事業により最大2haに大区画化。プール育苗、農業用ドローンを導入し省力化。
- ③10haで輸出用米を栽培し、JAを介して、(株)百笑市場へ出荷販売。また、卸売業者と契約し業務用米を出荷。



取組内容

①農地の集積・集約化の推進

事業にあたり塩崎団地の工事委員長、換地委員長として団地内の調整を行い、農地の集積・集約化を推進。

事業前の経営面積49haから事業を契機に76haに経営面積を拡大(地区内48ha、地区全体の7%)。

②省力化

塩崎団地では10a～20a区画の水田が、事業により最大2haに大区画化し、ほ場ごとに給水栓を整備したことで水管理作業は6割、草刈作業は8割の作業時間を節減。

従来、ハウス延べ12棟で行っていた水稻の育苗を、プール育苗と密苗を併用することで7割に削減し、育苗や移植等にかかる作業コストを節減。さらに、農業用ドローンを導入し、薬剤、肥料を空中散布することで労力を節減。

③流通・販売の工夫

主食用米のうち10haは大手卸業者と契約し業務用米を出荷、また、JAを介して輸出用米10haを契約栽培し、(株)百笑市場へ出荷販売。さらに8haを縁故米として販売することで複数の販路を確保し、毎年の生産量と価格の安定を図っている。栽培品種はJA等と相談し新品種を積極的に導入しながら、より多収穫で食味の良い品種を選択。

経営概要

従事者数：5人(家族)
販売額：70百万円
経営面積：76.0ha
主要作物：業務用米10ha、
輸出用米10ha、縁故米8ha、
加工用米5ha、もち米5ha、
飼料用米39ha



塩崎団地大区画ほ場

塩崎団地 代掻き・田植え作業

	事業前	現在
作業量	5人で20日	3人で4日



事業概要

地区名：茨城中部地区
事業種：国営緊急農地再編整備事業
関係市町：茨城県水戸市、茨城町
受益面積：675ha
工期：平成28年度～令和7年度
事業目的：区画整理
主要工事：区画整理675ha、末端水路L=177.2km、暗渠施工624ha

	事業前	現在
塩崎団地筆数(筆)	48	9

	事業前	現在
経営面積(ha)	48.0	76.0